

知識情報処理技術に関するシンポジウム 「集めないビッグデータ」 ～セキュアでオープンな自律分散協調型社会の構築～

- 主催：知識情報処理技術専門委員会
- 担当部署：インダストリ・システム部
- 参加者数：約130名

概要

近年、ビッグデータへの注目が集まっていますが、実際には、特定の市場を寡占したりグローバルに事業を展開したりしていなければビッグデータを入手できない状況です。また、ビッグデータの集中管理には大きなコストを要し、多数の個人や企業のデータを集約すると個人情報や企業秘密の漏洩等の問題が生じますから、そのリスク管理にもコストがかかります。したがって、真にビッグデータを取り扱えるのはごく一部の巨大企業だけというのが現状です。より多くの企業や個人のニーズに応じてビッグデータを活用できるように

するにはどうすれば良いか。むしろデータを集めないことによって仮想的ビッグデータを社会全体で活用することが可能になることも考えられます。本シンポジウムでは、物理的・論理的に分散したデータを社会的に共有し流通させることにより、ヘルスケア、マーケティング、スマートハウス、マイクログリッド、防災などに用いるための技術やビジネスモデルについて4名の講師の講演とパネルディスカッションにおいて展開しました。



プログラム

○開会挨拶

橋田浩一 氏 (産業技術総合研究所 / 知識情報処理技術専門委員会 委員長)

○ITアーキテクチャとエッジヘビーデータ

丸山 宏 氏 (統計数理研究所)

○センサーデータとプライバシー

美濃導彦 氏 (京都大学)

○医療データの社会的共有

森川富昭 氏 (慶應義塾大学)

○パーソナルデータの保護と利用

小林慎太郎 氏 (野村総合研究所)

○パネルディスカッション

司 会：橋田浩一 氏 (産業技術総合研究所)

ディスカッサント：清野正樹 氏 (パナソニック)

パネリスト：丸山 宏 氏 (統計数理研究所)

美濃導彦 氏 (京都大学)

森川富昭 氏 (慶應義塾大学)

小林慎太郎 氏 (野村総合研究所)

○閉会挨拶

橋田浩一 氏 (産業技術総合研究所)